



PTA 母親委員 おすすめの本紹介 Part3

ははおやいいん ちゅうしん みな ちゅうがくせい ほん
母親委員さんを中心としたPTAの皆さんによる「中学生におすすめの本
しょうかい かいめ こんかい あたら こうにゅう ほん おお て はい
紹介、3回目です。今回は新しく購入した本が多くあります。ただし、手に入
らなかつたほん ほん すべ おおつちゅうとしょかん
らなかった本もありますので、全て大津中図書館にあるわけではありません。

★の本: おおつちゅうとしょかん ほん
大津中図書館にある本

※の本: こうにゅう ほん
購入できなかった本

しょうかいぶん なまえ とくめいきぼう かた
紹介文のあとに名前がないものは、匿名希望の方です。



『棚からつづ貝』イモトアヤコ (文藝春秋) ★

「世界の果てまでイッテQ」でおなじみのイモトアヤコさんのエッセイです。2007
ねん だいがくせい としき お ちんじゅう きかく
年、大学生の時にコモドラゴンに追いかけられるという珍獣ハンターの企画でオ
ーディションに見事合格し、人生が一変し、現在に至ります。ご本人は「棚ぼた」な
じんせい い けつ すなお いっしょうけんめいとりにく けっか こううん
人生と言ってますが、決してそうではなく、素直に一生懸命取り組んだ結果、幸運が
まいこ だようにおも かか かたがた かんしゃ ことば おお みりよく ひとがら
舞い込んだように思います。関わった方々への感謝の言葉が多く、魅力ある人柄が
つた よ
伝わってきます。ぜひ読んでみてください。



『ぼく、学級会の議長になった。』三神英彦、沢田石誠 (星雲舎) ※

みなさん「ファシリテーション」って知っていますか？会議やミーティングを円滑に進め
る技法のことですが、学校でクラスや学年、委員会などで話し合う機会があると思
ひます。その時にだらだらと意見がまとまらないと嫌ですよね。それをうまく進められ
る方法を分かりやすく書かれています。今のうちからファシリテーションを極めてお
くと、きっと頼られる存在、間違いなし！です。(渡辺理香さん)



『ドルフィン メッセージ』葉祥明 (自由国民社) ※

みなみあそ びじゅつかん ようしやうめい ほん うつく え とも ところ ひび し
南阿蘇に美術館のある葉祥明さんの本です。美しい絵と共に、とても心に響く詩が
か ちゅうがくせい おとな み ゆうき ないよう
書いてあります。中学生にはもちろん、大人が見ても勇気をもらえる内容となってい
ます。わたし ようしやうめい え だいす ほん しゅつばん
私は葉祥明さんの絵が大好きで、たくさんのステキな本も出版されてますの
で、とてもおすすめです。(柿添由加里さん)



『^{ひと}どんな人でも ^{あたま}頭が良くなる ^{せかい}世界に ^{ひとつ}一つだけの ^{べんきょうほう}勉強法』^{つぼたのぶたか}坪田信貴 (PHP研究所) ★

^{えいが}映画化もされた『^{ビリギャル}ビリギャル』の^{ちよしゃ}著者・^{つぼたせんせい}坪田先生の本です。^{べんきょう}勉強しているのに、なかなか^{せいせき}成績が上^あがらない科目がある人にぜひ^か読んで^ほ欲しい1冊です。^よ読むのがつらかったら第4章^{だいしやう}だけでも！（有田真由美さん）



『^{さくら}桜のような ^{ぼく}僕の ^{こいびと}恋人』^{うやまけいすけ}宇山佳佑 (集英社) ★

^{びやうき}病気になった主人公が、^{だいす}大好きな ^{こいびと}恋人の前で弱^まっていく ^{すがた}姿を見せたくないため、別^{わか}れを選んで必死^{ひっし}に生き抜いていった ^{すがた}姿を描いた ^{えが}小説です。^{しやうせつ}涙なしでは読^よめ^{せつ}ない切^{もの}ない物語です。



『^{よつばと}よつばと！』^{あずまきよひこ}あずまきよひこ (KADOKAWA) ※

^{むすめ}娘がお友だちのおすすめで^よ読んでいた ^{ほん}本です。^{しゅじんこう}主人公の「^{よつば}よつば」の^{にちじよう}日常を描いた ^{まんが}漫画です。5歳の主人公が子どもならではの ^{めせん}目線で感じた ^{かん}気持ちをズバズバと ^{きも}発言したり、^{きも}気持ちのままに ^{こうどう}行動する ^{すがた}姿にヒヤヒヤしたり、ほほえましかったり子どもの ^{きも}気持ちをあらためて ^{かんが}考えさせられたりしました。



『^{たなか}さよなら田中さん』^{すずき}鈴木るりか (小学館) ★

^{ちゅうがくせい}中学生作家の作品であり、^{いま}今の子どもたちに ^{あた}パワーを ^{ほん}与える本です。



『^{のう}スマホ脳』^{アンダース・ハンセン}アンダース・ハンセン (新潮社) ★

^{ちゅうがくせい}中学生でも持っている ^もスマホがどれだけ ^{のう}脳に ^{えいきやう}影響を ^{あた}与えているのか、どうしてそれほどまでに ^{むちゆう}スマホに夢中になってしまうのか、^{つか}スマホを使っている人^{ひと}にぜひ ^よ読んでもらいたいです。

『^{ともだち}そんな友達なら、いなくたっていいじゃないか！』^{さいとうたかし}齋藤孝 (PHP研究所) ※

^{おとな}大人の ^{わたし}私も ^{ひとづ}人付き合いの ^{さんこう}参考^{ほん}にしている本です。「^{なか}仲のいい子がやるから ^{いっしょ}一緒にやろう」じゃなく、^{じぶん}自分のやりたいことを、^{ひとり}一人でも ^{ゆうき}勇気を持って ^も挑戦^{ちやうせん}することの ^{たいせつ}大切さに ^{きづ}気付ける本 ^{ほん}だと思います。パツと ^よ読めて、ためになるのでおすすめです。

- 『^{みやもとむさし}宮本武蔵』^{よしかわえいじ}吉川英治 (講談社) ※ ^{まんが}漫画「^{バガボンド}バガボンド」の ^{げんさく}原作。^{ちゅうがくせい}中学生の時、^{とき}徹夜で ^よ読みあさった ^{ほん}本。
- 『^{さい}13歳のハローワーク』^{むらかみりゅう}村上龍 (幻冬舎) ^{じぶん}自分の ^{しやうらい}将来を ^{かんが}考える ^{とき}時に ^{やくだ}役立てたい。
- 『^な泣けないサボテン』^{なすかつら}なすかつら (扶桑社) ※ (藤原俊美さん)
- 『^{はなたば}アルジャーノンに花束を』^{ダニエル・キイス}ダニエル・キイス (早川書房)
- 『^{ほんず}本好きの下克上』^{げこくじやう}香月美夜 (TO ブックス) ※
- 『^{ほんとう}本当の「^{あたま}頭のよさ」ってなんだろう？』^{さいとうたかし}齋藤孝 (誠文堂新光社)
- 『^{じんせい}人生にお金はいくら必要か』^か山崎元、^{ひつよう}岩城みずほ (東洋経済新聞社) ※